18 Julho de 1924 No. 353

Noticias do Brazil

大正十三年七月十八日　金曜日　第三百五十三號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ..... 18$000
„ Semestre ..... 9$000
„ Mez ..... 1$500
„ Semana $500

革命騒動に直面して

當市に革命騒動が勃發して、今日まで丁度二週間になる。其の間軍政下に於て書き得るだけの情報は、前號と本號の『時報』紙上に、順序を正して掲載した。騒動の起つた當初は、直に結末が着くだらうと思つたが、官反互ひに鋒をけづり、或は砲戰に、或は小銃戰に、晝夜殆ど間斷なき處を看れば、尚ほ此處當分此の騒動が續くものと思はざるを得ぬ。

而して此の騒動が長曳けば長曳く程、市民は、物質的に將た精神的に不安を感じ、困難を增さざるを得まいが、さりとて事既に茲に至れる以上、官反孰れか一方の或る到達點にまで漕ぎ付けざる限り、吾人の望むやうな鎭靜は來ぬだらう。然し何れの國の歷史を見ても、内亂や騒擾の無い國を見ぬのであるから、内亂や騒擾は固より望むべき事ではないが、國家の發達上免かるべからざる事のやうである。

殊に是れが文化の程度の低い國になると、國内の軍事及び行政に統一を缺ける處から、内亂騒ぎが屢々繰返へされるを見るが、是れが極端に走り、産業の發達を阻害し又は外國の干渉を誘致せぬ限りは、さまで悲觀すべきものではない。無論今次の聖市の軍隊騒ぎは、伯國に取つての不祥事ではあるが、或る程度に官反一致點を認めて握手するならば、俗に云ふ雨降つて地凝まるの言葉の如く、此の國の軍事及び行政に一大進歩を齎すことが能るだらう。故に外國人たる吾々は、此の革命騒動に直面し、決して輕々しき振舞ひがあつてはならぬと同時に、外國の出來事だと稱して一笑に附するやうなことはあつてはならぬ。即ち此の革命騒動に對しては、吾人は常に愼重に、研究的態度を持し、此の國民的運動の裡に、如何に重大なる意味の含めるかを覺るの必要がある。

所が遺憾なことには、前週の七日夜、州統領が軍隊と共に身を郊外に避けて後、革命軍が軍政を布くまでの間、一時市内の秩序亂れたるに乘じ、低級なる民衆の爲めに、市内名物の一に數へらるメルカードは破壞しされ、特主は手を合さぬばかりに、其の内に混じ居るを見るに至つては悉く掠奪されたるを始め、飮食所、食料品は勿論のこと、衣類、雜貨、機械に至るまでねこそげ持去られた一大醜事が白晝公然市内の各所に演せられたるを吾人が見た。

然かも之れが無教育にして廉恥の如何なるものかを理解せざる、黒奴又は之れに類するの徒なりと嘲笑すべき一人や二人ならず、堂々たる帝國々民にして、普通教育を卒へたる我が同胞の書くことを憚め斷はり置く。

吾人は餘りに其の醜くさと、恥かしさに面を掩はざるを得なかつたのであるが、外人より日本人の無道德を痛罵さるゝに至つては、更に穴にも入りたき心地がしたのである。

尤も掠奪した恥知らずの徒に言はすれば、日本人が奪取すれば何人に取らるゝ品物だから、取らねば損だから、之れは所謂盜人にも三分の理ありの理由であるが、之れは所謂盜人にも三分の理ありの理由である。

文明人間には通用せぬ理由である。

吾人は此の際何々家の家長、細君、子供、女中と一々名を掲げて筆誅を加へやうとは思つたが、餘りに是れ恥かしき事項なるが故、暫く保留として今後を監視する事にした。故に今後に於て再び此醜事惡行を繰返す者あらば、吾人は遠慮なく日本人の體面の爲め、事實を事實として書くことを豫め斷はり置く。

大砲の使用中止は出來ぬ

砲彈市内各所に爆發

官軍が射たねば革軍も射たぬ

領事團の奔走

サンパウロ市長フイルミアノ・ピント殿

サンパウロ市内を砲撃しない樣にとの當下始め諸名士連名での御要求に對し、小官が聯邦大統領閣下の命に依り御約束の我し張れるとゝ云ふ事を申上げなければなりません此機に乘じて其抵抗を長びかせ、砲撃に依る損害とは比較にならぬ程もつて重大なる損害を貴人に蒙むらせんとする敵軍に對し、大砲を使用してはならないとゝ云ふ手ぬるい戰爭をする事は出來ません。砲撃に依る物質上の損害は之を修繕補塡する事は容易に出來ます、殊に勤勉な市民の活躍して居る都市に於て容易でありますが、然しながら精神上の損害ぶれは復興に容易な事ではありません。聯邦政府に對し敵軍が占領してゐる都市を砲撃しないやうにと頼む代りに敵軍の勇氣に手頼つて市民な犧牲にしないやうに市を撤退し、野外戰を承諾してくれるやうにと勸誘する方が最善であります。けれども小官は當下始め諸市民に對し、我軍は軍事上必要の狹い範圍内に於て大砲を使用する外、美しい繁榮なるサンパウロ市に、徒らに物質上の損失を被らしむるものでない事を斷言する事が出來ます。千九百廿四年七月十二日陸軍大臣セサンプリノ大將（當市長、大司教、商業會議所會頭其他連名で聯邦大統領へ聖市砲撃中止請願に對する回答）

十一日終日の砲戰は最も猛烈に行はれ、多數砲彈は市内各所に落下爆發し、民家を破壞し市民を殺傷する事引きも切らず、赤十字社は所屬自動車をプラス、ペンニヤ、モウカ方面へプラス、さてはモッカ、イピランガ方面と

展開しつゝ全市六十萬の人心に**驚愕**せしめて住民に避難を勸むる**ビラを**散布しつゝ避難者の運搬に從事すれば、住民は着のみ着のまゝ比較的安全地帶たるピラ・マリアンナ、サント・アマロ方面へ雪崩を打つて避難する混雜實に名狀すべくもない、十一日午後四時過烈しく打ち出した砲彈の一ルゴ・パイサンドウの料理店カルリノの前に、他の一發はシルコ・イロ、の小屋に落ち、サンイジエニヤ陸橋に落下**爆發**した一彈は通行人を一人即死せしめ、續いて二人即死し地下に落下重傷を負つて赤十字社の救護を受くる間もなく何れも死亡した、ブラス方面に於ては最も危險地帶たるセル街附近で落下**砲彈の**爲に死傷した者の數頗る多數に上つた、同夜官軍側は市内及聯盟總裁はレオポルド大司教を訪ひ同大會に於ける**決議の**要綱を述べ**大砲使**用を停止して小銃戰だけにして貰う事、目的が市民擁護にある故にプロレタリヤートからも代表者を委員會に送る事の議が出で何れも可決されて解散後、成立した委員會は直ちに行動を開始した

市内砲撃中止を大統領へ請願

食糧配給策

商業會議所會頭私邸に催された同會議所及聯盟聯盟合同の大會後、會頭及聯盟總裁はレオポルド大司教を訪ひ同大會に於ける**決議の**要綱を述べ**大砲使**用を停止して小銃戰だけにして貰う事、目的が市民擁護にある故にプロレタリヤートからも代表者を委員會に送る事の議が出で何れも可決されて解散後、成立した委員會は直ちに行動を開始した

大統領へ請願策

食糧配給委員會の活動

赤十字旗濫用

棺の中に間諜

月十二日、大司教、市長、國民聯盟總裁、エスタード社長及商業會議所會頭連名

警察事務に從事する事になり志願者を募集すると、學生團始め各種階級からの特志々願者は約五千名に上つたので其内から五百名餘を選び、舊政府の警察所各區に配分すれば、日本人が奪取すも何人に取らるゝ品物だから、取らねば損だから、之れは所謂盜人にも三分の理ありの理由である。

一流の實業者連多數會合、時局前後策に就て協議する所あり

第一　當市大司教及市長以下なる委員會を設け、官革兩軍首領と諒解を得て市内砲撃を停止し食糧供給の出來るやうにする事

第二　市長を食糧供給總務委員として食料品配給及宿舍の世話を委任する

第三　被害甚しい方面からの避難者を收容する爲必要に應じ諸學校寺院等の借受を請う事

第四　委員の一人又は其任命した者を派して州統領と會見せしめ、このサンパウロ人としての心に免じて當市により、る災禍をさけ、て貰ふやうに賴む事

第五　一員をリオ派して同樣の事を聯邦大統領に談判せしむ

の決議條項を國民聯盟から提案し、マタラツツオ會社代表者はサントスの同社に小麥粉其他食料品を多量に所有してゐるから、委員會は其法を講ずる要があると逃べ、ガンバ氏は其と同時に製粉場及び倉庫の警備をしないと前日の如き掠奪が起る旨注意し、全市内在庫品は五十萬の人口を暫く支へ得るに充分だが配給をうまくして總ての消費者に平分にするやうにする要がある事を述べ、其他兩軍に休戰を求める事、若し夫が不可能ならば少くも午前九時同軍司令部に向ひソクラテス少將及びカンポス州統領に其意のある所を述べソクラテス少將は『市内を破壞するのが目的ではないが聖市を回復する爲に大砲を使用しないわけに行かないがその前提として聖市民が軍事行動の犧牲とならないやうに隔離されるやうに革命軍所在地點を制限されたい。』と依頼され午後二時頃歸營した同領事一行は、更にロペス少將を訪ふて政府軍側の前提條件を示すと革命軍首領は同軍占領地帶を記した市地圖を提供する事になつた

警備隊組織に志願者五千

避難者を救へ

一時無警察狀態に陷つた全市の秩序を回復し市民の生命財産の保安に任ずる爲、市役所管轄の下に臨時警備隊を組織して市内警察事務に從事する事になり此電話は同夜志願者を募集すると、學生團始め各種階級からの特志々願者は約五千名に上つたので其内から五百名餘を選抜し、舊政府の警察所各區に配分する事になつた、他方にはいつ止むとも知れぬ戰を避けて逃げまどう多數市民の中、落ち行く目あてもなく

野宿するのもあり、婦人小兒病者などの難澁一方ならぬと云ふので、商業會議所では市内安全地帶居住者は分に應じ出來るだけ避難者を收容され度旨の宣傳ビラを配り、レオポルド大司教は管下の各寺院に出來る限り開放して難澁者を收容すべき事を勸告し、赤十字社に於ても運般手當のみならず避難者輸送上にも全力を盡して活動し宗教團體始め各種公共團體或は學校等は何れも其建物を或は野戰病院として、或は避難民收容所として先を爭つて提供してゐる

死傷者赤十旗を揭げた自動車は戰線を自由突破し得るのを利用して間諜等の**紛れ入**るものがあり、十一日にも手榴爆彈を携帶して市内に入り込み、諸所に投下爆發せしめ多數犧牲者をも出したに鑑み、市内占領の革命軍は自動車檢査を一層嚴重に行ふ事になり、赤十字社も同社旗濫用に就て一般に警告してゐる、又過日一柩車内に二個の棺を乘せて行くのを怪しと睨んだ革命軍が

棺を開かせると中から一大尉と一中尉が出て來て直ちに捕へられた等の喜劇もある、尚市長幹旋の下に組織された食糧配給委員會は十四日日常各種食糧品の定價表を定め、パンは目方によつて賣買され、自動車賃は革命戰前の値段に依る事等を定め、違犯者に對しては一コントの**罰金**を科し、再犯者に對しては營業鑑札を取り上げ閉店を命じ、**訴解の**爲、市役所管轄の下に臨時警備

戰線突破記

喞筒と爆彈の感違ひ　避難地から本社まで

ピニエロ、ペンニヤ、ペレンジイニヨ、プラス、モウカ、カンプシイから近くはピラ・マリアンナ、リベルダーデから避難民の大半は此處へ集まつたと云ふ唯一の

安全地　帶サント・アマロ市の混雜は想像の外である、廣くもないブラッサは黑山になつてあとからあとからと、子供を抱えたり老ひたる人の手を引いたり、セチンのルイ十五世式踵の靴にしなをつくつてゐた姫御前でも、裸足やシチーラで包を抱えて十五キロ、二十キロと云ふ遠路を汗みどろになつて逃げて來るのをつかまへては、少しでも新しい

戰況を　きゝたがつて蜂の巣をつゝいたやうな騷ぎ、此處は大砲では死なないが、兵糧攻めで飢死しさうだ、と云ふ通り食糧品在庫は至つて心細い、商家は市役所の命令で砂糖でも米でも豆でも一人に就て一キロ以上を賣らない、電車の

線路を　つたつてシダーデへ向ふと野原に生へてゐる草バルバ・デ・ボーデをむしつてゐるものが澤山ある、之は避難者が臨時蒲團製造に使ふのだ、ブルウクリンでもインヂヤノポリスでも店にあるものは飲料ばかり、パンなど片らも見なれない、ピラ・マリアンナ附近へ出るとパチパチと小銃や機關銃の音が

無氣味　に乾き切つた空氣に響くパライゾには砲兵が陣取り、官軍はイピランガからボスケへ出でひた押しに寄せて來てゐると云ふベルゲイロへ出られないので大廻りしてアベニイダ・パウリスタの下を行く、アベニイダは死んだやうに靜かで人の子一人歩いてゐないそこ此處に革命軍側の歩哨が立つてゐる、背中に荷物を負つて自轉車で白の小旗を立てた獨逸人が來る

呼び留　めて何を持つてゐると云ふ『妻や子供の着物やらパンやら鑵詰やら……』と答へる中荷物を觸つて見て『之は何です』『喞筒です』『エッ爆彈!?』『そうです自轉車用の』『あゝさうか、彈藥ではないね』と歩哨先生漸く安心通行許可はとんだ喜劇だつた、トリアノンのわきから尼さんの

修道院　うらへ出ると目の前で小銃戰が始まつた、其處から先へは行けぬと云ふので丘を越へてマヌエル・ドウトラ街からジヤセガイ街を上つてリベルダーデへ出ると嚴重に塹壕をつくつて街上に鐵線を張つて通行止、グロリア街方面又はブリガデイロ・ルイス・アントニオ方面に時ををいては豆をいるやうな機關銃の音がきこへる、仕方なしに

後戻り　してアラメイダ・サンジョアキンへ出てリベルダーデへ出ると角の哨兵が、通つてもいゝが危險は覺悟しろと云ふ、眼の前のファグンデスをめ〳〵と引返されもせず二三歩進むと哨兵が『なるべく壁へ添つて進めと注意してくれる、眼を放つとカンプシイの入口エスピリタ街奥の丘の上に五人の兵が

奮戰し　てゐたが二人が打倒れるとあとの三人は丘を逃げ下りてしまつた、かうして社へつくと午後四時サント・アマロを出たのは午前十一時半だつた、パライゾで連發する砲聲がピリ〳〵と編輯室の窓を搖る

（十五日日記）

戰塵

＝マタラツツオ倉庫の掠奪が始まつた時コンデ街に住む一邦人小麥粉一袋かついで逃げる所を一兵士に劒付銃を突きつけられて其處へ置かされる、其後から又一伯人が同じく小麥粉一袋かついで來て其兵士に其處へ置けと云はれたが頓着せずに馳け拔けたのでズドンと一發喰つて地上に倒れた之を見た前記の日本人ハットばかり一目散▲コンデ邊には大分掠奪組に加勢した者があると云ふ▲州兵で最も勇敢に政府軍の爲戰つたのは消防隊で精兵四百名中生き殘つたのは五十名内外だ相な觀兵式名物の梯子乘曲藝ももう見られまいかと心配してゐるものがある▲パリー停車場も掠奪を受けて散々日本品シイカラを持つて行つたものがあると云ふのでK伊東か日貿の荷物だらうと互に心配を持ち出しました』と鍋を見せ草原へ坐つて悲しいピクニックをはじめた▲同じ日富豪らしい奥樣や旦那樣連中見得も色氣もなく荷物を抱えてシチイラで大汗▲九日朝サンベント街の或家の前に銃を杖に壁に倚りかゝつて眠つてゐる若い水兵があつたがだん〳〵よく見ると眠つてゐるのではなく頭部に貫通銃傷を受けて戰死してゐたのだつた

荷車持つて掠奪

……市内の小商人連……

先週市内各所倉庫に起つた掠奪騷ぎには劫略品を持つて行つた荷車へ積み込んで歸つた小商人が多數あつたが彼等はかうして無料で仕入れた商品を善良な市民に目の飛び出るやうな値段で賣り拂つて頃をなでゝゐた

告示

見下の事變に際し死傷若くは財産に損害を被むれる場合被害者若くは關係者は左の要點を明記し遲怠なく本館へ屆出でらるべし

一、死傷の場合　場所、時、原因、箇所、狀態、姓名

一、財産損害の場合　場所、時、原因、品名、價額、商標等

右告示す

大正十三年七月
在サンパウロ
帝國總領事館

▲ガンバ倉庫の火災の折そこらにゐる牛を屠つて即席のシユラスコを作つて喰つて居た相だ▲小さな子供四人つれた夫婦者の避難者子供等がくたびれて歩けず泣き出したので荷物をほどいてコルシヤの中へ四人を入れ四隅をしばつて一本の棒をとうして夫と妻がヨチ〳〵と擔つてサントアマロへの道を辿つてゐた▲サントマアマロの或家では避難者を六十人收容したと云ふのがある▲前週木曜の夜試驗的に各線へ電車の運轉をすると市民は大喜びで『ビーバーボンデ!』▲十五日ピラ・マリアンナ附近に砲戰區域が移ると今迄無事だと安心してゐたのが皆サント・アマロへ逃げ出す西班牙人の一家族『晝飯を煮てゐる所へドン〳〵始まつたので何をおいてもと煮えてる御飯の鍋

CASA SUYAMA

◆日本品各種◆食糧品◆農産物仲買及委託販賣

ソロカバナ線
オウリニヨス驛
ルア・サンパウロ
郵便函九十八番

雜貨店兼旅館　須山勘一

綺麗で、迅速で、叮嚀で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapés No. 236

聖市コンセレイロ、フルタード街一番（コンデ街見付上角）
御旅館『旭』
野口喜平治
電話セントラル四一〇二
ルス、ソロカバーナ兩驛よりの電車は三九番に御乘車亦總領事館及海外興業、日本人各商店及シダーデには最も御便利の場所に候

◆日本人に對する法律事件の相談◆
辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所　總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
L. da Sé, 3, 3º andar Sala, 14 S. Paulo

懇切叮嚀
平田旅館
館主　平田崎太郎
室内清潔
バウルー市
ソロカバナ驛眞上

Y. KINJÔ
CIRURGIÃO-DENTISTA
Rua Affonso Penna, 37
Tel. Cidade 6267
S. PAULO
齒科醫
金城山戸
聖市アホンソペンナ街三七番
電話シダーデ六二六七番

急啓此の度當市に革命暴動勃發總ての交通機關停止致し候に就ては御注文に對する返書送荷等全然不可能に陷り誠に遺憾に不堪候へ共不可抗の出來事何分御諒察を請ふの外なく候但し鎭靜の上は最も迅速に夫れ〳〵相運び可申候間此の儀御了承被下度願上候　敬具

大正十二年七月九日　聖市　瀨木商店

噴霧器　佛國製、墺太利製、伊國製、内國製
殺虫劑　アルセニコ、硫黃、硫酸銅、生石灰、ベルデパリス、ボカフアロ、アゾール、アルセニヤト・シユンボ
綿種子　無手數料にて取扱可申候

殺蟻器

アラード　其他農具一切
カルビデーラ
バタイラルド　大小
通信販賣
農産物委托販賣
サルバドール　大小
○神田醬油聖市一手販賣
○自家用綿繰機取次販賣

御荷物運搬並に御移轉の際に於ける家財取扱には丁寧を旨とし
自働車運搬業　原村喜之助
プラサ・ダ・レプブリカ三七
電話……シダーデ三八五〇
市内市外を問はず何時にても迅速に御需めに應じます

Toyoco Sasaki
Parteira Diplomada no Japão e em São Paulo
分娩及び診察の御呼出は何時にても應じます
公認産婆　佐々木とよ子
ルア、フレエイ、カチカ一五三
マテルニダアデ、サンパウロ
電話シダーデ二〇三番

弊館へ御投宿の御客樣へ對し内外諸官廳への願書及屆書等無手數料にて代書可仕候
御旅館常盤
館主　石原桂造
設備完全　取扱叮嚀
聖市コンデ・デ・サルゼーダス（坂上）四一番
郵函……一八五〇番

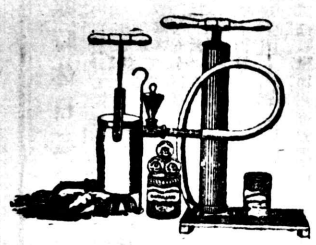
日本圖書
賣藥一切
化粧品
小間物
反物雜貨
食料品
鑵詰各種
種子一切

◀大勉强卸小賣▶
中矢商店
K. NAKAYA
Rua C. de Sarzedas, 69 S. Paulo
サンパウロ市ルア・コンデ・デ・サルゼーダス六十九番
電話セントラール六一三六番

●當社貸附移植民諸君に謹告

▲爲替相場か非常によくなりました、御入金なさるのは今の内です
▲御返濟成績不良又は居所不明其他返濟の誠意なしと認めらるゝ向は御氣の毒乍ら本國保證人から申受けます
▲左記諸君の現住所御一報を得たし
長澤伍市　田鍋饒太郎　菊永宗内
後藤貞二郎

大正十三年六月
海外興業株式會社伯國支店
Kaigai Kogyo Kaisha
Caixa Postal, 1082 S. Paulo



官軍の大逆襲
凄しい大砲の轟き
無氣味な小銃機關銃戰
本社附近の混戰地帶
豫備役召集

十三日夜兩軍砲兵は大に活動をなし最も猛烈なる砲撃をなす、政府軍の最も激しく攻撃したる地點に於て攻撃軍は退却し革命軍は占領地帶を確實に保持す（ミゲル・ダ・コスタ少佐より革命軍本營への報告）

革命軍司令部は武裝せる陸軍及州警兵隊各兵並びに市民の街路上に止まる事を禁じ各自所屬兵舍に歸還すべきものたる事を告ぐ、塹壕守備の兵のみ街上に止まる事を得（十四日ミゲル・ダ・コスタ少佐の發表したる軍令）

電車も通ひ出し、閉めた商家の大戸も繰り上げられて月曜日は稍平靜に砲聲もきこえねば、之で納まつてくれゝばと市民はいづれも

愁眉を　開きかけた甲斐もなく火曜十五日午前十一時頃から前にも增して猛烈に始まつた砲撃は終日連續し、通りかけた各線の電車も引き上げてしまへば、開けかけた商店の大戸も又閉ざされて市中はまたも黑い悲しい影に包まれてしまつた、翌十六日も前夜からの小銃戰は絶え間なく、合間々々に大砲の音が

全市を　ゆする、戰線はピラ・マリアンナからベルゲイロ、パライゾからアペニイダ・パウリスタ、プリガデイロ・ルイス・アントニオ更に他方はカンブシイ、グロリア街に延び、他方ペンニヤ方面も激戰地だと云ふ、本社は此混戰地帶に入つてしまつて交通斷絶してしまつた、十六日午後には官軍側の飛行機も飛び此機に州警兵第五大隊兵營を

奪還し　なければと力み返り、十七日も大小銃砲聲は絶え間なく四邊に響く、官軍側はリオ及びミナスから陸軍の大增援兵を得たので、一擧にして革命軍を潰走せしめると揚言し、革命軍側では既に豫備役軍人及義勇兵を召集して愛國隊を組織しパラナ州ポンタ・グロッサ及カストロ駐屯陸軍諸兵の應援も得、リオグランデからガウッショ連も多數入り込んだし彈藥も向後尙ほ

三ヶ月　の交戰に充分な程用意がある、官軍のやうに滅茶苦茶にシダーデを荒す心算なら早く片着けられるが、市民になるべく迷惑をかけたくないから長引くのだと揚々としてゐる、官軍の大逆襲も十七日朝撃退されイピランガに退き十八日にかけてプラス方面が激戰地になつた

伊太利領事へ
革命軍總大將の回答

市內砲撃中止されたいと斡施した伊太利領事に官軍の司令官は前提條件として交戰區域を定めたいと云つたに就て革命軍總大將は伊太利領事に回答したが其に依れば『此の前提條件は政府軍司令官は革命軍の占領地點を一々指示されたいと云ふ策略を意味するに過ぎない恁う云ふ狀態なのでイジドウロ少將は此前提條件に回答する事が出來るか否か賢明なる伊太利領事の判斷にお任せする』とある

愛國隊を組織
市內警備に任せしめ
精兵を集中し得る爲

革命軍參謀長メンデス・テイシエイラ中佐は次のやうなビラを十四日市中へ撒布せしめた

聖州人諸君、革命軍は益々市民の安寧を保證する事を望み聖州青年の愛國心に訴へ迅速に此革命の目的を成就する爲諸君の助力を仰ぐものである、諸官廳を警護し市內の軍事警備に任ずる爲愛國隊を組織せんとするが政府の目的である、一と度同隊の組織せられたる曉は無防禦の婦人小兒を沒人道に砲撃する者等に向つて大攻撃を企つる爲吾が有する戰鬪部隊を速に集中する事が出來るのである、此人道上の助力を以て故鄉の榮ある市の爲に盡さんとする義勇兵は直ちにジョルジ、ミランダ街衛戍病院の横州警兵第二大隊に出頭されたい同所に於て軍服武器部隊編成及配置に就ての總ての處置を行ふ

又革命軍總大將は陸軍豫備兵役にある者を殆く召集する事とし夫々所屬兵科により左の如く至急出頭を命じた

歩兵は教導隊へ、砲兵は消防隊營舍へ、騎兵は州警兵騎兵聯隊へ、工兵及航空兵は本營へ

地方行汽車と
……市內電車……

月曜日頃はインテリオル行各列車は殆ど平日通り發着し避難者の便を計つて賃金は何れも大割引を行ひジュンディアイ行の如き三ミルであるソロカバナ線に於ても十四日は朝八時半及び午後二時半にソロカバ行列車を發車したが乘客は避難者其他で非常に多數に上つた、又市內各線電車は十四日朝から運轉開始したが十五日正午近く始まつた砲撃に再び運轉を中止して仕舞つた

市內の危險
流れ彈や電線切斷

交戰區域には何れの街角にも道路舖石で掩堡を築き小銃機關銃を据えつけて待ち構えてゐる見へぬ敵影に無鐵砲に射つ彈のどこへ流れて飛んで

來るか　もわからない國民聯盟は例會に於て『國民聯盟は革命軍が行つた砲撃に對してなしたる抗議に準じ今度は婦女老幼及政戰に無關係な者を犧牲とする政府軍の同樣の戰法に對し抗議す』と云ふ意味の決議をなした又市內各所の電車架線或は電燈電信電話線等が

切斷し　て地上に垂下しそれに電流が通じて居り、當該諸會社も其修繕工事に區域の如何によつては不可能でもあり或は手が廻らず頗る危險である

交外團の盡力
伊大使からの通報

伊太利大使から當市伊太利領事への通信によれば當國駐在外交團は同意の上聯邦政府に對し在留外國人の利權保護及市內砲撃中止少くも政府軍砲兵の砲撃地點を制限されたい旨勸告する處置をとつたと云ふ

臨時休日延長

聖州內に於ける臨時休日令の期間は去十二日で終つたが革命戰は依然變化はないので更に十九日迄延長される事になり十二日附を以て司法大臣から之を公布した

陸相の回答に
革軍大將の聲明

別項記載の聯邦大統領の名で聖市長への陸相の回答に對し革命軍總大將は『聖市民及政府軍司令官は革命軍が野戰を承諾してゐると云ふ事の證人である、そして其證據は十二日終夜非常な砲撃が續いたがシダーデは一發の砲彈をも見舞はれなかつた事である』と聲明した

革命軍の公報
戰況と應援兵

十五日附革命軍本營から發表した所に依れば『十四日の戰鬪は殆ど黎明まで長時間繼續された、革命軍は占領地帶を確守し尙ほ

進出も　した事は銃砲聲の刻一刻と遠方に響き行きし事に依つて証せらるゝ所である』と又『革命軍の兵數はジャポチカバルの義勇狙撃隊及び愛國ブラジル人に對しての革命軍の乞ひに應じて集まつた多數豫備兵によつて增大した、尙今十五日にはポンタ・グロッサ及カストロ（何れもパラナ州）から

多數の　陸軍諸隊が到着する筈である』

サントス平靜
……戰艦ミナス戰鬪準備

當市に於ける革命戰亂に對しサントス市は頗る平靜で殆ど平日と相違はないがたゞ街上やカフエでの話題は何れも革命戰ばかりである戰艦ミナス・ジエラエス號は砲門を開き戰鬪準備をして、イタイプウス砲臺から砲撃されても砲彈の屆かない地點に碇泊してゐる噂によれば同港着後直ちにサンパウロへ派した陸戰隊は半數以上行衛不明になつてしまつたと云はれ又其後海路同港へ上陸した官軍は八千だと

革命軍首領
……と其略歷……

今回の革命戰に總彩配を握つてゐるのはイシドウロ・ディアス・ロペス少將で南大河州の產

退役將　校で本年六十一歲である千八百八十三年三月十二日陸軍士官學校へ入學、千八百八十九年一月見習士官候補生となり翌年十月見習士官に任せらる、千九百十三年三月には中佐に進み、ウエスラウ・プラス大統領下にリオの第十三聯隊長であつた、筆もよく立つ人で故鄉の新聞紙の特別寄書家である、少將に進んで退役となつたのは極最近で兵科は砲兵である、又同軍の

參謀長　たるジヨゼ・デ・オリベイラ大佐は千八百八十九年一月見習士官、兵科は騎兵で高等戰術學校にも學び漸次昇進したもので、部內に於ても矚目されてゐた有爲の將校であつた

商業會議所仲介で
革命軍の要求
無辜の民の兵火の犧牲になるを悲み

當市商業會議所は革命戰がかうして長く續けばやがて內亂となり、虐殺や掠奪が所在に起らうし外國人も多い事とて

外交問　題をも惹起すまいとも限らず特に犧牲になつて夫を失ひ親に離れた無辜の市民の涙をどう默つて見てゐられやうと同會頭から今度の騷動の當初から捕虜になつてゐるノロニヤ中將へ、どうぞ此兵火の納まるやうに盡力されたいと十六日書面で賴んだ所同中將も同感で、革命軍の要求條件次第では或は武器を用ゐずして

解決し　得られるやも知れずその條件と共に聯邦大統領へ具申したいと回答したので、商業會議所會頭は其回答書及ノロニヤ中將への依賴書の寫を革命軍首領ディヤス・ロペス少將に回送した、同少將は之に對し十七日附を以て次のやうな

條件を　ノロニヤ中將へ送つた

聯邦政府をウエンセスラウ、プラス氏の如き誠實の士として國民的名聲あり、又革命軍の信賴する人士に依りて構成されたる臨時政府に引渡す。臨時政府は適當と認めたる時機に委員政會を招集し此委政會は次の諸項を支持する義務がある

第一、聯邦共和政體
第二、其他地方利害關係を按配し現行聯邦州數を減じて現在の各州域を平衡せしむ
第三、宗教の自由及多數カトリック教徒の不信教者に對する不容認に對しての憲法上の權利の擁護を確認して寺院と國家との分離
第四、立法の憲非憲を判別する司法の權能
第五、各州間の稅稅禁止
第六、ブラジル人の權利につき擴大される事以外變更あるべからざる事
第七、聯邦大統領及州統領の再選禁止、投票數の三分二以上の得票ある以外聯邦及州上下院議員の再選も同樣に禁止

臨時政府は出來る限り速かに次の義務を負ふ

第一、國際關係に就ては國際爭議を平和に解決するとの伯國の古來よりの政策を維持する
第二、聯邦各州及各郡の現在のあらゆる約束を正しく支持する
第三、秘密投票法發布
第四、司法官組織及訴訟法の統一
第五、稅法及關稅の改正、稅務監督吏及稅關吏の罰金及沒收利益均分禁止

海軍部內に關しては其軍事上及憲法上の權利に對する正當の權利を政府が絶對に尊重する事を要求する

リオへ向け出發の
田付大使一行

去る六日ソロカバナ線視察から歸聖の豫定であつた田付大使一行は革命騷動勃發して鐵道不通となつたが爲め一時立往生の已むなきに至られたるが、總領事館より齋藤、嶺兩書記生の出迎えを受け比較的安全の通路を自動車にて突破する事となり、漸く十二日に當地へ安着總領事官舍に落ち付かれたので一同安心した、然し大使の歸聖はリオへ歸館の爲めの便宜立寄りに過ぎないから更にサントス行きの冒險を企て海路リオに向はざるを得ないので十五日午前革命軍司令の通路證を得て自動車三臺で出發したるも激戰中危險なりとて途中引返へし十六日午後一時再び自動車にて軍人上りの坂元、原口、土屋、瀧澤の諸氏隨行し出發せるが此日幸ひにして危險區域を突破するを得て無事サントスに着されたがリオ行きは兩三日中に便船を求めての事となり送り自動車三臺は本日午後是れ亦無事に歸聖した

聖市滯留の同胞は
大抵歸宅の途に就いた

革命騷動勃發の前日カンピーナスから一寸聖市に立寄つて歸らうとして出聖したプロミッソンの鈴木貞次郎氏を始め買物やら移民出迎えやらで出聖した多數の同胞は不意の騷動に進退谷まつて宿屋籠城の己むなきに至れるが十二、三日頃市街戰少しく緩んだので或は汽車で或は自動車で歸宅の途に就き今殘れる者は僅かに中央線とサントス行き位ゐなものである

サントス行を果して歸つた
海興の山田揚之助氏

一時心配した海外興業會社の山田揚之助氏のサントス行きは昔鍛へた大尉時代の膽力で危險區域を何うやら恁うやら切り拔けて十一日午後にサントスへ到着して會社用を取濟ませ十二日に又同じ自動車で瀧澤仁三郎氏と同乘歸聖したので留守宅始め友人等はマア良かつたと安心の胸を撫で卸した

社告

今回の擾亂は意外中の意外にして吾れ人共に驚愕の外なく候前週一時小康を得たる我々同胞大部分の住宅は官軍の逆襲と共に危險狀態に陷り砲銃彈の落下に屋內籠城の止むなきに至り我社の如きも辛ふじて四ページ新聞を發行したるも市內直配達の外總て郵便局內に停滯の不幸に遭ひ折角の努力も讀者諸君に通せざるを遺憾に存候得共是れ不可抗的の出來事如何共手の施すべき術無之候間事情御諒察を乞ふ外なく候但し同胞中四五の死傷者を除き他は總て無事なれば此儀御喜び被下度候　匆々

伯剌西爾時報社

食糧品定價畧表

別項の如く食糧配給委員會は主要食糧品の定價を定めたがその中主なるものは次の如くである

米	キロ	九五〇—一、四〇〇
砂糖（精白）	同	一、九〇〇—二、〇〇〇
鰹	同	三、〇〇〇—三、六〇〇
豚脂	同	三、六〇〇—四、〇〇〇
馬鈴薯	同	七〇〇—七五〇
生肉	同	九〇〇—一、六〇〇
玉葱	同	八〇〇
マンジオカ粉	同	六五〇—七五〇
小麥粉	同	一、一〇〇—一、二〇〇
豆ムラチニヨ	同	一、三〇〇
フバ	同	六五〇
マカロン	同	一、三〇〇

大石內藏之助

牛井桃水

第百八十回

人々心得之覺書

一 定日相究候はゞ兼て定候通り前日の夜中物靜に內々定置候三箇所へ集まり可申事

一 定日に至り候はば兼て定候刻限に可打立事

一 敵の印揚候時は引取候場へ可令持參候其時は首取次第に其者の上着を以て裹可申候若上使杯御驅着け候はゞ此首泉岳寺へ持參仕度存念に御座候然れども御印無之候へば不及是非御歴々之印むざと打捨がたく候以御下知彼屋敷へ被遣候樣にも可有御座歟其段御指圖次第に可仕候其上勝手次第と於有之に泉岳寺へ持參御墓所へ可供事

一 息の印揚候はゞ持參に不及捨之候覺悟に可心得事

一 味方の手負は隨分成次第引退候分別肝要に候乍然肩にかけ候ても難成首尾に候はゞ印を揚候て引取可申事

一 上野介殿討取候時は相圖之小笛を段々吹懸總容へ可爲知事

一 引取候場所は無縁寺可爲候但無縁寺に入れず候はゞ兩國橋東之橋際之廣場に打寄可有事之

一 引取候途中近所の屋敷方より人數を出し押留候時は挨拶の事其實を告候て私共何方へも逃去候事更に無之候無縁寺まで引取公儀御見分之儀を請候旨趣を可申上志に候乍去無御心許思召候はば寺迄御附可被成候一人も退散之者無之由を可申事

一 屋敷より追手馳出追來候へば總人數踏留り勝負可仕第一頸を奪はれざる覺悟專一に候事

一 勝負之內御檢使有之候はゞ大門を不開候てくゞりより一人外へ出で御挨拶心得之事其實を告げ只今當人をも討取申候活淺り候者ござも呼集め追付け罷り出で御下知を請申覺悟に御座候私共所存一人も退散可申さの存寄にては無御座候門內へ御見分可有之との御事に御座候へども暫く御控へ可被下候討入候者共屋敷中に打散り居り申候へば門內へ御入被遊候時卒爾之儀無心元奉存候追付け門を開き可懸御目旨を申堅く門を開く間敷候事

一 引取之節兼て認め置候書付文箱に入竹に挿み場所に可立置並に頭立候六七人人數之書付を懷中可仕事

一 退口は裏門より引取可申事

一 乍勿論之儀討留候覺悟總容必死之心底決定候右者引取候節之覺悟胸中に含み候て討入候へば臆病に似たれども退去候ても必死之面々に候へば討入時の丈夫の覺悟專要之儀に候不及申候へども銘々必死粉骨之働き尤もに候也

此の文案は吉田忠左衛門が認めて、內藏之助の添削を求めたもので、內藏之助は一字も改めず、總て同意の旨を答へ、筆を執つて卷頭に、君父之仇不倶戴天と書し、即ち姓名を記して、第一番に血判した。

此の君父之仇と書いたのを見て、堀部安兵衛は稍に危み、禮記には父之仇とあつて、君父之仇といふ句が見えぬ大石程の士を、後世一字句の爲め、批判さする事があつては、如何にも殘念と心得、當時の書家で學識も極めて深い、細井廣澤の許へ行き、此の事を質した處、父之仇君父之仇孰れにしても差支ないと確答した、義士が些末の事までも、周密の注意を拂ひ、綽々餘裕あつたのは此の一時でも推量られる。

— — — —

本所二つ目に茶の湯風流を友とする一個の桑門があつた、吉良上州は隱居の後、專ら茶事を嗜み、斯の道に親しむ者は、身分の高下を問はず呼集めて茶會を催した。此の桑門も時折吉良家に出入する事を、横川勘平は聞出したので、何とかして近寄りたいと、絶えず機會を窺つた。

秋の中頃雨風の激しい夜中、勘平は此を通り掛り、不圖見れば風の爲め門內にある柳仆れかゝり、柴の扉を壓拉がうとする光景、主の桑門は雨中に佇立み、さも難儀の體に見えた時こそ來たれと喜んだ勘平、性得の大力で仆れかゝる柳を支へ、主が持出した麻繩をからんで、傍らの松に結び、元の姿に引直したのを桑門は大に喜び、庵室に誘ふて、菓子を進め茶を振舞うた。

是を緣に勘平は、絶えず庵室に訪れたが、此の桑門殊の外惡筆で、外よりの來書には、わざ〳〵人を賴んで、返辭認めさすのであつた。勘平は至つて能書、何でも直に認めるから、桑門調法がつて、來る每代筆を賴むのであつた。

霜月の末勘平は、湯島の籠索麵土產に持つて、一夕庵室に音訪た。

『是は〳〵勘平どのか、實は足下の見えるのを、待ちこがれて居るので御座る』

『ハ、ア左樣で御座りましたかへ、昨日は遠方へ出掛たので、さう〳〵御無沙汰になりました、是は湯島天神の籠索麵、御好物とか申す事ゆゑ少々調へて參じました』

『每度お心入のお土產、愚僧の方からこそ、お禮致さねばならぬのに』

『ヱ、何を仰しやりますぞへ、朝晩お邪魔に出かけては、お菓子よお茶よと、御馳走になりますもの、偶にこればかりのお土產持つて參つたとて』

『マ、折角のお志頂きます〳〵』

『何うかおあがりなされて下さりませう、時に今夜は別段書物の御用も御座りませぬかへ』

藷を救へ

農業者諸君へ急告

馬鈴薯の豐作をお望みになるなら植付の前に種薯を伊太利ミラノのカッファロ會社製劑ポー・カッフアロ（Pó Caffaro）一水百の割で溶かした液に浸して消毒して下さい。

總ての作物にポー・カッフアロの溶液を撒布して雨が多かつたり暑過ぎたりして起り易い病害ペロノスポラを豫防し救濟して下さい。

ポー・カッフアロは葡萄、トマテ其他一般果樹類、蔬菜等の病害に對する特効劑で、スルフアト・デ・コーブレより經濟で効力あり、石灰のやうに多量を要せず、藥をやかず、使用は易すく奏効確實。

發賣元 LUIGI MELAI Rua Conceição, 3-E S. Paulo

代理店 瀨木商店 R. C. de Sarzedas, 49 S. Paulo

BANCO NOROESTE DO ESTADO DE S. PAULO

横濱正金銀行ノロエステ線總代理店

候申扱取御りよに場相建の定指行銀金正濱横……金送里鄕

扱取務業行銀般一他其出貸び及金預

本店 Rua Bôa Vista No. 24 SÃO PAULO

支店 Lins, Pirajuhy, Pennapolis, Pres. Alves e Araçatuba

ENDEREÇO TELEPHONICO OICED

親切と便宜とを旨として營業仕り候

御旅館

松山三太郎

電話シダーデ七一三三六番

郵函一三六三番

聖市カンタレーラ街九拾番（カンタレイーラ驛前通り）

電車はルス驛前通過五三番（ルス驛より七分間で達する所）

▼最新式米國型洋服▼叮嚀迅速廉價調製▲

矢部洋服店

聖市ジョゼー・ボニファシオ街十一番A二階第三號室

電話―セントラール―三…四…三…四番

四ケ年契約者大募集

位置 ノロエステ線アラサツーバ、バクリー兩驛より何れも自働車道の便あり又本年七月より多年問題なりし山脈線の起工となり明年度全通の運びと確定しましたから入殖者に取り一大福音と云ふべきであります。

希望者は御視察を願ひ詳細は左記へ御照會下されば契約條件を即答致します。

附近には珈琲地帶あり將來有望の地、地價低廉に提供致します。

ノロエステ線ア・リンス驛

横溝浩

HIROSHI YOKOMIZO

Est. A Lins L. Noroeste

詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候

聖市キタンダ街十番

ブロンベルグ會社

BROMBERG & CIA.

CaixaPostal, 756 Rua Quitanda No. 10 S. Paulo

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.

(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)

Rua da Candelaria, No. 23

Caixa Postal 380

Rio de Janeiro

ヤリトリデ、ナガミノ、オモテニ、ハフルベシ

鄕里送金

一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候

二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御鄕里の受取人へ送り屆け申上候

三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶は横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候

四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息	六ケ月以上	年六分
伯貨定期預金利息	六ケ月以上	年四分五厘
	壹ケ年以上	年五分
伯貨當座預金（小口）		年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

リオ、デ、ジヤネイロ

横濱正金銀行支店

OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社瀛船發着廣告

●シカゴ丸 北米パナマ經由 横濱、神戸行き サントス發七月廿五日 リオ港發七月廿八日

●カナダ丸 日本より リオ港着七月廿九日 サントス着七月卅一日

サントス、リオより横濱ゆき船客運賃 一等三三コント 三等一コント

尙詳細は左記へ御問合せ被下度候

S. Paulo : — Antunes dos Santos & Co. Rua José Bonifacio, 17

Santos : — Rua 15 de Novembre 167

Rio de Janeiro : — Wilson Sons & Co. Ltd. Av. Rio Branco, 37

K

各地食糧店でお求め下さい

爐から乾魚ケズリ節

製造本舖

サントス

三共商會

セナドル、ダンタス街五三番

電話セントラール三〇五四番

郵函三二八番